



百歳おめでとうございます

清水春治さん（大正4年1月生）が百歳を迎えられ、市長より祝詞とお祝いの品を贈呈しました。

清水さんは定年後、笹川良一氏の健康体操の免許を取得し、公民館講座で教えていました。また、思川によく釣りに出かけていたそうです。現在もとても健康で病院にかかることもなく、食事もおいしくいただけるそうです。

いつまでもお元気でお過ごしください。



市長と中学生が特別授業

1月15日、国分寺中学校において、立志を迎える中学生（2年生）178人を対象に、市長が特別授業を行いました。

授業では生徒が市長に質問。「旧庁舎はどうするのか?」「市長の仕事は?」「市民は市を良くするためにどうすれば良いか」など、市の将来や市長の業務についてなど、疑問を率直に声にしました。

参加した生徒は「普段市長となかなか会える機会がない。聞いた話を今後を生かしたい。」と貴重な体験を喜んだ様子でした。

この取組みは市内4中学校で行われます。



現地を見て肌で感じた

亘理町とスポーツ交流

12月20日、下野市国内交流協会主催による『スポーツ交流事業』が亘理町で開催されました。

この事業は、スポーツ活動を通じ両市町の友好関係を深めるとともに、青少年へ災害・防災への関心を高めることを目的として開催されました。第1回として南河内サッカースポーツ少年団を派遣し、亘理町の荒浜ジュニオールFC少年団とのサッカー交流試合が行われました。亘理運動場で行われた試合では、両チームとも日ごろの練習の成果を存分に発揮し、互角の戦いが繰り広げられました。



試合後は、亘理町で活動している「震災語り部の会ワツタリ」による被災地視察に参加し、震災により同町民の300名以上の尊い命が失われた被災状況や現在の復興状況をDVDや写真により説明をいただいたあと、被害の大きかった荒浜地区や海岸沿いに建設された防潮堤等を視察しました。

また、12月26日には、参加した選手たちが、下野市役所を訪問し市長に事業報告を行い、「友達ができた」「被害のすごさを感じた」など、試合の感想や現地を見た感想を述べました。市長は「見て感じてきたことを忘れないで、ほかの友達にも伝えてほしい」と震災を風化させないようにお願いしました。

